

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

基本方針

質を追求し、プレゼンスを高める。不確実で変化が激しい時代においても、なくてはならない存在として成長し続ける。

売上高
2,400億円

営業利益率
8.0%以上

ROE
9.0%以上

2 中長期の経営戦略

1. コア事業における攻めと挑戦

自動車関連では生産能力増強と現地生産化検討。建設機械では客先モデルチェンジをターゲットにキャビン商品フルラインナップ化。要素技術プレゼンス向上とプレス機械刷新を推進。

2. 電動化に向けたコア商品の進化

電動車対応商品を開発。バッテリー搭載考慮のフレーム多機能化やEV用アクスル開発を推進。タイではEV専用アクスルを受注し量産開始。

3. サステナビリティ経営の推進

4つの重要課題について目指す姿を明確化しKPI設定。人材多様性・気候変動対応・ガバナンス強化に取り組み、2050年カーボンニュートラル実現を目指す。

3 対処すべき課題

① 事業環境の不確実性

- ・ウクライナや中東情勢の長期化、欧州・中国の経済回復遅れ
- ・EV化減速に伴う開発動向の変化
- ・米国の関税政策が業績に与える影響

② 技術開発と生産能力強化

- ・生産ラインの再編一新とDX強化
- ・要素技術の絶対的プレゼンス向上
- ・欧州拠点の塗装工場新設、米国でのパイプ焼入設備導入

③ 人材と組織基盤

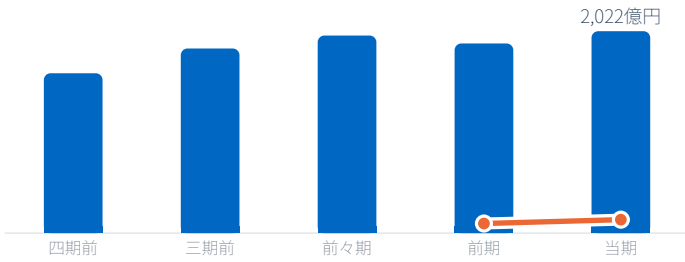
- ・人材多様性と活性化を経営の重要施策と位置づけ
- ・やりぬく力醸成に特化した研修展開
- ・2024年3月の人権方針策定に基づく人権デューデリジェンス推進

面接で使えるポイント

- ・5か年中期経営計画で2028年度売上高2,400億円を目指し、コア事業強化と電動化対応を同時推進する成長戦略。
- ・自動車・建設機械関連事業の生産能力増強と現地生産化検討により、主要取引先の中計戦略と連携した事業拡大。
- ・EV用アクスル開発でタイでの量産開始、欧州でのEV対応商品受注など、電動化への実績的な対応実績。

証券コード 7246

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,022億円営業利益率
6.7%財務健康度
42点 / 100点

要するに

自動車関連事業と建設機械関連事業を主力とする輸送用機械器具製造業の企業

主力事業・セグメント

- 自動車 83.6%
- 建設機械 16.4%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高2,022億円の事業規模
- 平均勤続19.3年と定着率が高い
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 52.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
762万円

輸送用機器内 21位/82社

平均年齢
43.0歳

輸送用機器内 33位/83社

平均勤続
19.3年

輸送用機器内 17位/83社

女性管理職
2.7%

輸送用機器内 47位/72社

男性育休
55.9%

輸送用機器内 55位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: プレス工業株式会社に、当社ノウハウを活用した新作業服を採用い

